

自主・平和・民主の日本をめざす月刊誌

# 日本の進路



提供：琉球新報社

主張 ■ 対米従属が使命の自民党政治を打ち破る時が来た

編集部 [2]

## アジアの平和と未来をひらく若者訪中団

伊礼 悠花 [4]

概要「知る」から「変える」への歩みを始める旅に  
 長崎の記憶を胸に、中国と向き合った訪中体験  
 自分の無知と向き合い、歴史を体感した訪中の旅  
 琉球の視点から見た中国の歴史と国際関係へのまなざし  
 学問と軍事のはざままで考える日中友好

[6]  
[7]  
[8]  
[9]

中国大使館で訪中報告会(9・18) 呉江浩 駐日中国大使の発言  
 市民皆農、国民皆農 食料自給を確立する 菅野芳秀さんに聞く

[10]  
[12]

国、自治体は「平和的生存権」を保障する義務がある  
 自治体が生み出す貧困問題と自治体議員の役割

伊藤 周平 [16]  
川村 雅則 [20]

資料 全国知事会が「排外主義」を批判、多文化共生社会を目指し未来拓く  
 戦後80年、大陸侵略130年 沖縄の国際交流(地域外交)の目指すもの

[22]  
[24]

書評 ■ 『新・未来をひらく歴史 東アジア3国の近現代史』

羽場 久美子 [24]  
伊礼 悠花 [28]

第21回全国地方議員交流研修会 in 札幌にご参加を

[31]

2025年  
10月号  
No.397

# 市民皆農、国民皆農。食料自給を確立する

「令和の百姓一揆」の、この半年間の全国への広がりは目覚ましいですね。3月30日を契機に全国の20くらいの都道府県に「令和の百姓一揆」関連の行動が広がった。いま先行しているのは中国地方、九州ですね。とくに中国地方はすごい。

私はいま東北のネットワークをつないでいる最中です。秋田が11月10日に、山形が11月の24日に行動を準備しています。秋田の集会には山形から、山形集会には秋田からも発言してもらおう。そこに青森がいま準備しています。1月になつてからつて言っていますけど、雪の中で大丈夫かなと思います。

福島は3月30日青山での一揆に大挙して大型バス2台で来ましたからね。地元での行動も進むと思います。あとは宮城と岩手ですね。ここは歴史的に基礎がありますから。そうすつと東北6県みんなそ

「令和の百姓一揆」実行委員会代表で置賜自給圏共同代表、自らも山形県長井市で養鶏とコメ作り農業を営む菅野芳秀さんにインタビューした。文責編集部。菅野さんは、10月27日から札幌市で開催される第21回全国地方議員交流研修会の全体会合で問題提起し、2日目の分科会でも助言者を務められます。

ろつてということになるわけですね。やっぱり日本の農業農民運動といえど東北がないといけないです。

この後、全国では、12月に比較的大きなシンポジウムをやろうと「令和の百姓一揆」全国実行委員会の事務局では相談しています。さらに来年3月にどういう形になるかこれからですが、今年を上回るようなアクションを、多分デモも含めてだろうと思いますけどもこれから議論します。

それまでの間は各県の、各地区の運動に重点を置きながら、大きなものを二つ準備したという感じでしょうか。それをつなぎながら

来年度に滑り込んでいくつていう方向を考えています。

## 消費者と連携した農民運動

私のいま一番の問題意識は、これはもう既に私が農民運動をやり始めた当初から、つまり45年ぐらいい前からあったんですが、生協など消費者の運動、市民の運動と連携した農民運動にしなきゃならぬというふうに思っていました。

農民のある種の独り善がりを超え連携していく。市民運動との連携がとても大事だつていうことをずっと思つてたんです。

そのとき生協の活動家からね、私たちは、日本の農業を守りたいと思つて運動しているのであつ



て、農民を守ろうとは思つていません。そういうシビアナ言い方はしなかったけど。つまり食料問題という日本の問題を解決するとは課題にしますけど、それをそのまま農民の利益を実現していく方向とはなりませんよ、みたいなことを言われてたんです。

## 小さな農家を潰して良いか

その問題が四十数年前からあったんです。今まさにそれが非常にリアルに露骨になつてきています。いま強まっている論調は、日本の農業を守りたいから小さな農家には退場してもらおう。農地が分

現すべきだと思えます。

散し小規模非効率な農業を集約し、効率的な大型農業、ドローンも使ったような農業を展開できるようにしないと、日本の農業を守り切れないみたいな傾向です。

いやいやちよつと待てよ。それはおのずと限界があると思う。

中山間地域も含めて農業・農村政策を「大規模化」に特化してしまつと、中山間地の続けられないというたくさん農家が出てきま

す。いまでも成り立っていない。そうですよ。中山間地の彼らが農業から離れたほうが良いとすれば、果たして平野部の農業だけで、日本農業は維持できるのか。

単に効率、規模の論理だけで押し切るような政策には、それは違うと言わなくてはいいけない。

日本農業を守るためには「大規模化」って言うだけじゃなくて、多様な農業が求められています。もちろん大規模化は否定しない、できるところはやればいいと。だ

けど頑張つても大規模化できない中山間地では、それなりの所得補償など財政面も手だてを講じて、

それでも耕し暮らしていける農業というものもきちんと政策的に実

## 農村をどうするかは日本をどうするかだ

ところがいまは、町は町、中山間地は荒廃。全国では典型で東京一極集中、地方は地方。分化してますよね。大きくは日本の国、社会をどうするかという問題でもありますね。

先日、座談会のテレビを見てたんです。島根かどつかの大規模化を進めている農業者の話です。彼は100町歩を2、3人でやっているつて言っていました。そこにはもう全然、「村」という観点がないわけです。いかに安く作るかというだけ。それで勝ち抜いていくという農業経営者としての視点があるだけなんです。

コミュニティをどう維持するか、村をどう維持するかはない。例えば、山から流れる水なしに平場の水田はできない。誰が水路を維持管理するか。そうした視点があれば皆無ですね。

逆に、例えば100町歩を100人で、みんな1ヘクタールずつ耕す。多分兼業になると思

いますけど。そうやってみんなが「農」の当事者として生きていくというやり方。100町歩を1人の人間がやり、残りの99人が農業から離れていくつていうのと、どっちが面白そうか。市民皆農、国民皆農。いろんなブランド農業から兼業か日曜日農業、退職者農民まで皆で耕し、食料自給を進める、これだと思えます。

## 大規模農家もむしろ深刻

大規模化を進めた農家も大変です。後継者がいない中で、果たして1000万、2000万円という機械を使つて、倒れずに生きていけるかみたいな不安、かなり深刻な不安が横たわっています。彼らのお顔見ても幸せそうじゃないんですよね。自分も楽しくなければあんまり農業したくないですよ。専業農家で今回の百姓一揆の当事者として、うん、30町歩つている農家ももうこんな農業はしたくないと。後継ぎもいないとか。そう方も山形の実行委員会に入つてきています。

むしろそうした方のほうが大変なようですね本当に。それにみんな

な高齢化してますから、肉体的にもきついし、金銭的にもきつい、施設費用もきつい。そういう意味では厳しい競争関係にずっと置かれて、ストレスも高いしというような感じですよ。決して大規模経営になったからといってゴールじゃないつていうか。もういい加減にしてくれというふうには言つてました。多分それが現状だと思えますね。

だから1人1ヘクタール、1戸1ヘクタールでいいと思うんです。国民皆農です。

## 新しい動きが「一揆」に

水田農家だけでなく畜産農家も野菜農家も一緒に、令和の百姓一揆の農民サイドでいろんな主体がさまざまな問題をそこで発言されて、農業全体がそういう形で落ち込んでいることに改めて考えさせられました。特に酪農経営のひどさとかは想像以上でした。これはなくなるのは当然だつて、われわれの周辺でも10軒ぐらいたった酪農家が今は2軒しか残つてないです。

そういう中で、集まつてきてい



この状況全体でやっぱ変えるよ  
うなところまで進まないといけ  
ないんじゃないかなと思ってい  
ます。非正規労働者が女性だと5割を超  
えているでしょう。青年労働者の  
男性でも3割超えていますよ。効  
率優先というような社会、効率こ  
そご主人さまで、人々の命や暮ら  
しは効率優先の下に位置づけられ  
ている。このように働けないやつは  
いらぬよという社会です。

これを変えなくてはいけない。  
効率優先のシステムの中で誰もが  
幸せになつていない。だから何の  
ための国づくりなのか、何のため  
の社会なのかということの根本か  
ら問われていかないとけない。  
どういふ農業をつくるかという  
問題もその一部だと思ふんです。

## 地域を中心に自治体の役割

10月の第21回全国地方議員交流  
研修会に私も期待しています。地  
域をどうつくるか、いま非常に重  
要となっています。地方議員の役  
割は大きいです。

私たちは山形県置賜地域でレイ  
ンボープラン、それから置賜自給  
圏運動をやってきました。

それは、グローバルイズムといっ  
た国づくり、その軸は、地方より  
も全国にあり、一国よりも世界に  
あるみたいな、いわゆる多国籍企  
業だと思ふ。そうした企業と結び  
企業の幸せを実現するために国民  
国家が位置づけられる考え方、東  
京に向けて一極集中の一部として  
地域が位置づけられるみたいな考  
え方に、私たちの考えは対置する  
ものでした。それを逆転しないと  
レインボープランも地域自給圏も  
成り立たない。地域の消費者と生  
産者がつながり地域的に自立して  
いく。それが自給圏、地域が主役  
だ。

地域の舵取り、行政の舵取りは  
国に依存するんじゃないに、地域  
の主人公である地域住民、農民で  
あったり、市民であったりするわ  
けだけど、その方々が連携しなが  
ら地域の方向性を決めていく。地  
域における市会議員なんかを含め  
て巻き込みながら、そういう地域  
づくりに変えていかなきゃならな  
いという観点に立つてレインボー  
プランも、それから自給圏もやつ  
てきたんです。

農業政策はいま国が中心になっ

てやられている。本来ならばやつ  
ぱり地域政策として農業政策を位  
置づけなければならぬ。多様な  
地域の特徴に合わせて地域政策が  
あり、そこにもちろんそこで暮ら  
す人々の暮らしがあり、食生活が  
あるというふうに。

地域自治体の議員たち、職員た

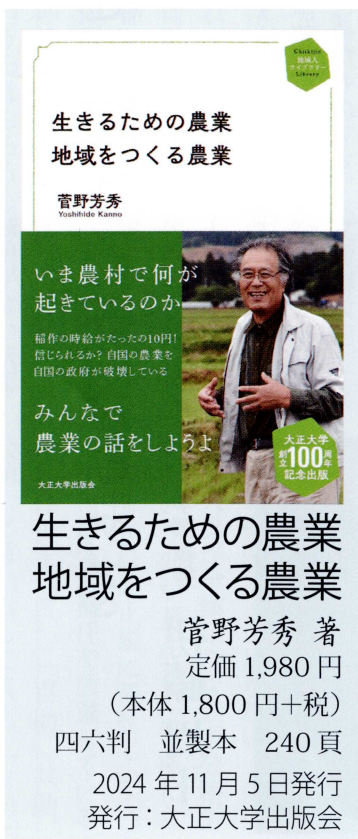
**置賜地域** 山形県の最南端の、米  
沢市を中核とした3市5町。米沢  
盆地を中心に長井盆地を含めた最  
上川水系と小国盆地からなる

**レインボープラン** 山形県長井市  
で20年以上取り組まれている地域  
ぐるみでの循環型地域づくり事  
業。「循環」「ともに」「土はいの  
ちのみなもと」を理念に、市民の  
台所から出る生ごみを堆肥化して  
市内の田畑にすき込み、その田畑

ちは、そういうシステムをつくる  
役割がある。そうした地域政策を  
立案していく、市民に訴え市民と  
ともにそれをつくっていく役割が  
ある。そういう地域リーダーとし  
ての自覚を持って、政策を立てて  
いくんだ、この危機を突破してい  
くんだということだと思います。

で栽培された米や野菜をまた市民  
が消費するという食と農をつなぐ  
循環の輪を回す運動

**一般社団法人置賜自給圏推進機構**  
山形県の南部に位置する置賜地域  
で3市5町を一つの「自給圏」と  
とらえ、圏内にある豊富な地域資  
源を基礎に産業や雇用を生み出  
し、地域経済の好循環を目指して  
2014年8月設立



生きるための農業  
地域をつくる農業

菅野芳秀  
Takashi Kameoka

いま農村で何が  
起きているのか  
稲作の時給がたったの10円!  
償じられるか? 自国の農業を  
自国の政府が破壊している

みんなで  
農業の話をしよ

大正大学出版会

生きるための農業  
地域をつくる農業

菅野芳秀 著  
定価 1,980 円  
(本体 1,800 円+税)

四六判 並製本 240 頁

2024 年 11 月 5 日発行  
発行: 大正大学出版会

# 第21回全国地方議員交流研修会 in 札幌にご参加を

広範な国民連合全国事務局

先の参議院選挙で自公与党は過半数を失いました。国民は昨年の衆院総選挙に続いて70年に及ぶ自民党政治を拒否し、日本の危機打開へ政治を変えることを求めました。

しかし自民党は行き詰まりの打開を掲げた石破政権を辞任に追い込み党内抗争に明け暮れています。残念ながら野党各党は、この自民党の抗争を見ているだけです。

このままでは国民の生活危機も、東アジアの平和の危機も打開できません。

日本を変える！ 政治を変える！ 地方から変える努力を強めようではありませんか。

全国地方議員交流研修会は今回で21回目です。今年1月の沖縄開催では「自己決定権」を掲げ先進的な闘いを繰り広げる沖縄県民に学びながら、自治体の抱える問題と日本の課題の打開へ活発な討議が行われました。その成果を踏まえて日米地位協定改定と食料自給確立での2度の対政府要請、「令和の百姓一揆」に呼応した各地での取り組み、各自治体での意見書決議、「日中不再戦・友好交流を進める九州自治体議員の会」の第2次訪中国などが共同して進められました。那覇での呼びかけで11月には全国地方議員の訪中団も出ます。

今こそ全国の地方議員の仲間たちの連携を大いに広げて、地方から政治を変える力をつくっていきましょう。札幌で熱い議論を繰り広げましょう。

第21回全国地方議員交流研修会 in 札幌への参加を呼びかけます。

## 要項

- 日程** 10月27日(月)全体会、名刺交換会 28日(火)分科会、全体会 29日(水)現地視察
- 会場** 北海道自治労会館(札幌市北区北6条西7丁目5-3 JR札幌駅北口より徒歩6分)
- 会費** 参加費 15,000円(町村議会議員は5,000円)(名刺交換会、現地フィールドワーク別途。宿泊は各自で手配)  
どなたさまもふるってご参加ください(一般の方の参加費は1,000円)

## プログラム

### 1日目(10月27日)

- 全体会 13:30～17:30(12時開場、受付開始)
- 名刺交換会(18:00～別会場)

### 2日目(10月28日)

- 分科会(9:00～13:00)
  - 第1分科会 日中不再戦・日米地位協定の抜本改定に向けて
  - 第2分科会 国民の食料自給を確立する
  - 第3分科会 公的責任で社会保障確立を  
パート1 介護と医療
  - 第4分科会 公的責任で社会保障確立を  
パート2 生活困窮者を自治体が支える
  - 第5分科会 持続可能なエネルギーの地域自給をめざして
- 全体会(14:00～16:00)

### 3日目(10月29日)

現地フィールドワーク

主催:第21回全国地方議員交流研修会実行委員会

共同代表 市橋修治(北海道議) / 藤本真利子(和歌山県議) / 山内末子(沖縄県議)

北海道現地実行委員会事務局長 木葉 淳(北海道議)

問い合わせ、申し込みは事務局まで(広範な国民連合全国事務局内)

電話& FAX 045-633-4534 Email/giin@kokuminrengo.net(担当:小山)



頒価は1部800円（送料別）  
申し込みは広範な国民連合全国事務局まで

かんかんがくがく  
から問題提を受け侃々諤々の議論を行いました。  
それから1年。参院選そして石破政権退場を受けて、今ますます「新しい国のかたち」をめざす共同が求められていると感じます。  
『大討論』をさらに進めようではありませんか。

### 『日本を変える!政治を変える!大討論』記録

日本の現状はどこから見ても危機的です。国民生活の危機であり、戦争の危機です。閉塞感の中にある国民は新しい政治を求めています。先の参院選挙でも自公与党を歴史的な大敗に追い込みました。しかし、野党各党も残念ながらこの怒りをほぼ結集できていません。

国民は「持続可能で平和な国」、そのための「新しい政権」を求めています。そこでこの『大討論』記録です。

昨年末、『日本を変える!政治を変える!大討論』が行われました。北海道から沖縄まで老若男女が立場の違いを超えて全国から集まり、鳩山由紀夫元内閣総理大臣、山崎拓元自民党副総裁をはじめ主義主張の異なる各方面のリー

広範な国民連合推薦決定!



(11月16日投票)

鳥栖市議会議員選挙

まきせ あき子

無所属・2期目・46歳

連絡先 080-3221-6997

makiseakiko@gmail.com

### 今月の表紙写真



### ミサイル戦争日米実動訓練に反対した沖縄県民の闘い

うるま市民は9月10日、陸上自衛隊と米海兵隊との共同実動訓練「レゾリュート・ドラゴン25」に抗議してうるま市の陸自勝連分屯地前で緊急集会を開いた(写真)。共同訓練には沖縄を含む8道県で約1万9千人が参加、過去最大規模で、米軍は多種多様な最新鋭ミサイルシステムを持ち込んだ。防衛研究所の政策研究部長は、米軍が年ごとに「西へ西へと動き、徐々に台湾に近づいている。米軍は中国の脅威に抗し第1列島線上の同盟国との連携を強化する姿勢を示した」と狙いを指摘した。抗議活動は各地で行われ、宮古島では市民団体のメンバーが船から降ろされた車両の行く手をふさぎ訓練中止に追い込んだ。

### 月刊『日本の進路』(397号)

2025年10月発行(毎月1回、1日発行)

発行人 加藤 毅

発行所 自主・平和・民主のための広範な国民連合

〒230-0015 横浜市鶴見区寺谷1-11-9

電話&FAX 045-633-4534

定価500円 年間6,000円(送料込み)

郵便振替 00200-9-39571 広範な国民連合

銀行口座 みずほ銀行川崎支店(普) 2251418

広範な国民連合

ホームページ <http://kokuminrengo.net/>

Email: [info1@kokuminrengo.net](mailto:info1@kokuminrengo.net)

【編集後記】「暑さ寒さも彼岸まで」は本当たった。でも猛暑を乗り越えられた皆さんも、地球環境破壊を止めることが緊急課題と思いが知らされたのは▼人間世界も激変のさなか。トランプ大統領が「国際秩序を破壊した」とだが2次大戦後の国際秩序は「米国が力で支配した世界」。支配抑圧された国々(日本もそうだ!)にしたら結構なことではないか。グローバルサウスの国々はいま意気軒昂。そのリーダーたちが9月3日天安門に勢揃い。各国平等の新しい「国際秩序」を求めている▼日本はそれを支持しその一員なるべき。朝鮮・中国侵略で最大の加害国日本こそ、80年のこの時に反省と謝罪を鮮明にすべきた。ところがどの党も、こうした新しい進路を選ぶべきと言わない。それどころか外務省は各国に式典に参加しないよう働きかけたとの報道▼そうした中で筋を通した政治家がいた。鳩山由紀夫元総理がただ一人、天安門に上られた。快挙! 断固支持だ▼若者訪中団の皆さんの声は若々しく正義感に溢れている。呉江浩中国大使の発言も希望に満ち、課題鮮明だ(▽)